

第108回運営委員会概要 11月15日(火) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
 - ◆出席委員：新野・佐藤・川口・竹内・武本(和)・前田・・・6名
 - ◆出席委員：伊比・高桑・・・2名
 - ◆オブザーバー：保安院／飯野所長・吉村保安検査官 エネ庁／磯部所長
東電／西田技術担当・佐野課長・権貝
 - ◆事務局：広報センター／井口業務執行理事 石黒主事
-

次回以降定例会の内容について(12月、11月25日の意見交換会)

- ◆11月25日意見交換会について
 - 〈議長〉会の運営について委員同士の意見交換を行うが、新しい委員も議論がしやすいようなテーマ、またどのような資料を用意したらよいか。
 - 〈委員〉話し合う内容の柱となるものを2、3決め、あとは自由に話しをしてもらってはどうか。
 - 〈委員〉要はオブザーバーのいないところで自由に意見を話してもらうことが目的。
 - 〈委員〉25名の委員がいれば25通りの意見が出てくる。ひとつのことを議論しようとしても意見が25通りもあるとなかなかまとまらない。
 - 〈議長〉それまではテーマを絞らなかつたために議論が散漫になるという意見が相次いだ。深まった議論がしたい、という意見を受けて11月は「EPZ」と「防災の初期の情報発信」に絞ってみたが、結局議論は散漫になってしまった。そういうこともざっくばらんに話しあえればよい。
 - 〈委員〉私は逆に、はたして深まった議論ができるのかと思う。東京電力や国、行政と直接議論ができることで深まると考える人もいる。自分は深まるとは思っていない、というふうにそれぞれの意見があると思う。原発問題から少し離れても、それを話すことが意見交換会の意義と考える。
 - 〈議長〉委員はそれぞれの団体から推薦を受けて参加し、それぞれの団体としての考え方や立場、また個々の考えを反映させながら発言している。
その発言は、地域の会の組織の一員としての意見でもあり、地域住民の大方の意見を反映させる役割もある。立場や地域、年齢、性別などの違いによって発言される内容が「なるほど」と、聞き手のオブザーバーや行政に影響を及ぼしたり、また住民のひとりとして発言する意見に制約はないため、同じ市民としての共通の思いや関心を持ってもらうという目的もある。個々として発信していくことは地域の会として大きな役割があるのではないかと思う。
 - 〈委員〉テーマがあつて、それに対してどう思うかという議論であれば深まっていくのかもしれないが、現状は市民としての問題意識がどこにあるのかを表明しているだけ。それが出てくればよいと思う。
 - 〈議長〉地域の会の委員としての役割はそこだと思う。「わからない」という意見を含めて25名の委員がきちんと活躍できれば相乗効果が期待できる。集約された意見から、どういうことに市民の関心があるのか、ないのか。発信する役割と聞き役のオブザーバーが意見をもとに、もっとよい働きをしていけるための会でもある。
自分たちの意見を思っているとおり、「どう伝えられるか」に磨きをかけていくことに価値もあると思う。
 - 〈委員〉11月25日の意見交換会は、オブザーバーもいない、自由に話ができる機会であるから、3.11を受けてどう思うかというシンプルな進行でもいいのではないか。
 - 〈委員〉何を言っても良い会ではあるが時間の制約があること、最低限の合意に基づいた会

則に乗っ取った中で上手に言葉を選んで意見を出し合えばよい。

〈委員〉25日の意見交換会は「3.11を受けてどう思うか」「この会についてどう思うか」にしてはどうか。

(委員賛成)

〈委員〉地域の会はもともと柏崎刈羽の発電所の問題に対して発足された会。しかし3.11を受けて最近の話題も福島のことや他のことも多い。ここでもう一度、発足当時のことも含めて会則のことなど考えてみてはどうか。

〈議長〉次回の意見交換会に会則と経緯や今まで地域の会として提出してきた意見書の一覧などの資料をつけて、新しい委員には説明をしながら、もう一度会則のことについて考えてみたい。

(委員賛成)

◆12月の定例会について(第102回定例会)

〈エネ庁〉事故調査検証委員会は12月に中間的な報告ということだが7日の定例会には間に合わないと思う。

〈委員〉1月は、事故調査検証委員会の中間報告を受けての内容でいいと思う。

〈保安院〉EPZの関係で原子力安全委員会の専門部会が先日行われ、その後原子力安全委員会が行われる予定。

〈委員〉考え方が固まりつつあるというだけで具体的な防災指針に反映させていくのは来年度以降といわれている。住民の意見を反映させていくなら取り上げてもいいのではないか。

〈委員〉EPZを含めた基本的な原発との関係についてそれぞれがどう思うか。防災範囲の決め方も原子力関係者だけで決めるやり方でなく、知事や市長を含めて決めるなど12月には、そういう意見を出して話し合いをしてもいいと思う。

〈委員〉防災についての考え方が固まった段階というが、どの段階で住民の意見が反映されるチャンスがあるのか。12月の定例会ではそういうことも聞いてみたい。

〈保安院〉原子力防災指針があって、その下に防災計画がある。現在はざっくりとした考え方が示されいろいろな意見を踏まえて今後、指針が見直される。

〈議長〉防災指針が決められるまでの仕組み、考え方をもう一度、12月の定例会で話してもらってはどうか。

(委員賛成)

〈東京電力〉1,7号機のストレステストについて次回定例会に間に合えば前回からの動きの中で報告したい。

(委員了解)

【決定事項】

〈12月7日定例会・タイムスケジュール(案)〉

18:30～19:20 前回からの動き(東京電力、保安院、エネ庁、行政)

19:20～19:30 防災についての考え方について(保安院)

19:30～21:00 フリーディスカッション

21:00～21:15 その他

視点51号内容について（第100回定例会分）

- ・原稿を委員で細かに確認
- ・事務局案を更に校正して校了

今後の日程について

意見交換会	11月25日（金）	18：30～21：00	柏崎原子力広報センター2F
第102回定例会	12月7日（水）	18：30～	同上
第109回運営委員会	12月14日（水）	17：30～	同上
第103回定例会	1月11日（水）	18：30～	同上
第104回定例会	2月1日（水）	18：00～	柏崎市産業文化会館3F

- ・勉強会については3月以降検討する。